

福島県 昭和花き研究会



昭和花き研究会とは

JFMA(日本フローラルマーケティング協会)理事でもいらっしゃる、菅家博昭会長筆頭のかすみ草生産団体が昭和花き研究会です。生産者総勢「28名」、内「8名」の生産者の方がMPSを取得しており、現在の生産者は高齢の方々が中心となって出荷されているが、今後の世代交代も視野に入れ、目標として団体でのMPS(Q)取得を目指しています。



圃場

▼MPS取得産地として意識の高さを思わせる工夫！

圃場内の通路には、雑草防止の為に防除シートを敷く、夏場のハウス天井部分にはハウス内の温度を下げる為に遮光シートを張る、ハウス下半分には防虫シートを張る等の工夫を行っています。



集出荷貯蔵施設

▼ 昭和花き研究会特有の商品貯蔵設備「雪室」。

貯蔵施設で使用している冷蔵設備には、「雪室」と呼ばれる施設があり、冬場2月頃に丸二日かけ、300tもの雪を保管し、「雪室」内に貯まった冷気を冷蔵庫に循環させて、保冷を行っています。



テーマ 「From Forest」 ～森が育てた かすみ草～

▼山間に位置する昭和村、立地条件を活かし生産。

落葉樹である「ブナの木」が多く生息するこの地域で、晩秋に落葉を集め、集めた落ち葉に稲刈り後発生する籾殻をまぶし、3年以上かけ肥料として使用しています。また、「雪室」を用いた保冷設備により、光熱費を十分の一に抑える事が出来ます。

このような環境下で作出された品種の一つが、かすみ草の「フォレスト」です。この「フォレスト」には、「森が育てた かすみ草」という、思いが込められています。

